

B-30 伸縮性を有する布地に適する縫い目について

東京農工大 木下陸肥路

福岡教育大 O福澤素子

目的 伸縮性の大きい布地の縫い目部分に力が加えられると、布地の伸びに縫い目の縫系の伸びが追従できないために、縫系が先に切断し、布地の伸縮性が生かされなることがある。これを防止するには、(1)伸度の大きい縫系を使用する。(2)糸量の多い縫い目で縫製することが考えられる。そこで縫系と縫い方を変えることによって、縫い目の伸度がどのように変化するかを検討する。

方法 ポリエステルニット地を試料に選り次の縫製と実験を行う。(1)縫系として伸度の大きいナイロンのニット用縫系と普通縫系、ポリエステル縫系、絹縫系を用いて縫製し、縫い目の伸度と縫系の伸度との関係を検討する。(2)直線縫い、チェーンステッチ、伸縮縫い、及びニット縫い等の縫い目の種類と縫い目の伸度を検討する。(3)ジグザグ縫いのピッチとふり幅とが、縫い目の伸度に及ぼす影響を検討する。

結果 (1)切断伸度の大きい縫系の方が、縫い方の如可を問わず縫い目の切断伸度は大きい。(2)縫い方では、ニット縫い、伸縮縫い、チェーンステッチ、直線縫いの順に切断伸度が小さくなる。(3)ジグザグ縫いについては、ふり幅におおよそ比例して伸度が増加し、ピッチが大きくなれば伸度は減少する。